

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和2年 5月 20日

兵庫県知事 殿

提出者

住所 大阪府大阪市中央区北浜4丁目
5番33号

氏名 住友電気工業株式会社
社長 井上 治

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6220-4141

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	住友電気工業株式会社 伊丹製作所
事業場の所在地	兵庫県伊丹市昆陽北1丁目1番1号
計画期間	令和2年4月1日から令和3年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	2499 他に分類されない金属製品製造業
②事業の規模	製造品出荷額 20,855百万円（令和元年度実績）
③従業員数	1053人（令和2年3月末現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙2のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	別紙 1, 2 のとおり
(管理体制図)	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	別紙 1, 2 のとおり		
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項	別紙 1, 2 のとおり
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		別紙1, 2のとおり	
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		別紙1, 2のとおり	
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 **別紙1, 2のとおり**

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】	別紙1, 2のとおり	
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(令和元年度)実績量

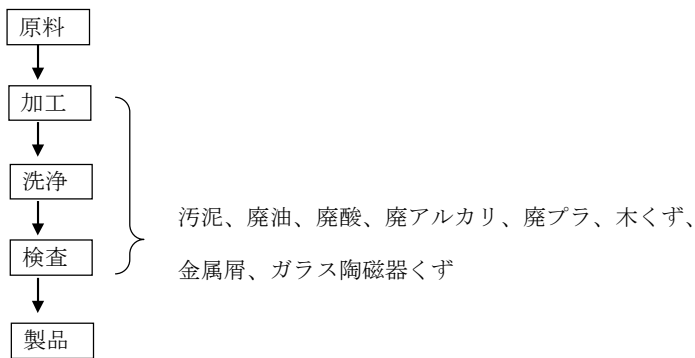
計画：今年度(令和2年度)計画量

単位:トン/年

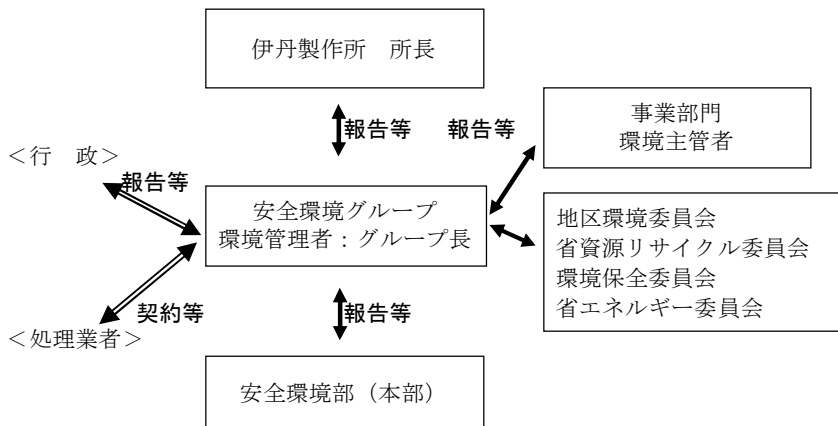
産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
0100燃え殻	1.63	0									1.63	0	1.63	0						
0200汚泥	334.12	300									334.12	300	121.65	100	212.47	200				
0300廃油	0.04	0.1									0.04	0.1	0.04	0.1						
0311鉱物性油	535.16	500									535.16	500	535.16	500						
0340油でい	90.54	50									90.54	50	90.54	50						
0400廃酸	7.27	5									7.27	5	7.27	5						
0500廃アルカリ	259.76	200									259.76	200	259.76	200						
0600廃プラスチック類	120.641	100									120.641	100	120.641	100						
0700紙くず																				
0800木くず	39.25	35									39.25	35	39.25	35						
0900繊維くず																				
1000動植物性残渣																				
1100ゴムくず																				
1200金属くず	6.075	5									6.075	5	6.075	5						
1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	73.67	50									73.67	50	73.48	48	0.19	2				
1315石綿																				
1321コンクリートくず																				
1400鉱さい																				
1500がれき類	2.02	0.1									2.02	0.1	2.02	0.1						
1600動物のふん尿																				
1700動物の死体																				
1800ばいじん																				
2522蛍光灯	0.86	0.5									0.86	0.5	0.86	0.5						
3108パーソナルコンピュータ																				
合計	1471.036	1245.7	0	0	0	0	0	0	0	0	1471.036	1245.7	1258.376	1043.7	212.66	202	0	0	0	0

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

1 産業廃棄物の一連の処理の工程



2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図)



※ 分担

事務局：安全環境グループ

- ・ 環境ISOに基づく目的・目標（廃棄物削減等）の計画立案
- ・ 廃棄物処理に伴う部署間の調整、行政への報告
- ・ 処理業者の選定、委託契約書等の手続き、引渡し、適正処理の確認
- ・ 関係法令等の教育

廃棄物排出部門

- ・ 生産に伴う産業廃棄物の発生量削減、分別、保管場所への運搬
- ・ 部門内スタッフへの分別方法等の徹底

3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 廃棄物の分別の徹底を行いリサイクル化の推進 有価物化の推進
②計画	(今後実施する予定の取組) 有価物化の推進 発生の抑制

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 発生部門にて全ての廃棄物を種類毎に分別・保管を実施している。
②計画	(今後、分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 有価売却の推進を図る。

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特になし。
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし。

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特になし。
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし。

7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特になし。
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし。

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) ゼロエミッション率：0.3%以下の維持と有価物化の推進を図ってきた。
②計画	(今後実施する予定の取組) ゼロエミッション率：0.3%以下の維持及び有価物化の継続的な推進を図る。